

最近耳にすることがある。キャンセル（英：cancellation）は、一般的にはあらかじめ当事者間です契約・約束した事柄の内、どちらか一方の都合で破棄する意味合いで用いられる。日常生活における約束の取り消しや失念、無視などについて使われるほか、法律的には解約・取消・撤回であり、主に予約等の解除を指す場合が多い。飲食店や宿泊施設など商業の場合は、事前の早めに連絡してくれていれば他の客を招いたり、食材の仕入れや調理を中止したりして避けえた機会損失・経済的損失を強いられるため、批判されている行為を指す。別名「予約不履行」「無断キャンセル」「ノーショー(No Show)」とも言われ、社会問題化している。

居酒屋をキャンセルした大学サークルが、店側のSNSで晒されるという制裁を受けた例がある。予約をしながら来なかつた場合、あるいは予約の時間まで一時間を切ってから突然キャンセルした客に違約金、飲食店、病院、美容室、劇場、高速バス、土壇場にキャンセルされることが、ドタキャンです。

土壇場とは、なんですか。「ギリギリで〇〇する」ニュアンスで使われます。

1 近世、首切りの刑を行うために築いた土の壇。前に穴を掘る。土壇。  
2 決断をせまられる、最後の場面。進退きわまった状態。「土壇場で話がひっくりかえる」「土壇場に立たされる」

「通常」・・・ある事象や状況が普段から一般的に起こる状態を指す言葉です。

「日常茶飯事」とは、日常生活でよくある普通の出来事や些細なことを指す言葉です。人が日常的に経験する、さまざまな出来事や状況に対して使用されます。

佛壇・壇：土を一段高く盛り上げた所。（木を段状に組み上げた物）

檀：まゆみ・香木のことと言い、「白檀・黒檀・紫檀・梅檀」

布施のことで「檀家・檀徒・檀那」布施をする信者の意味

「檀越(だんおつ)」「サンスクリットのダーナパティ施主のことである。」

檀那（旦那）(旦那) は【施主】せしゆ

1 僧や寺に物を施す人。檀那。 2 葬式や法事を営む当主。

瑩山禅師：師檀和合して親しく 水魚の昵づきをなし 来際一如にして 骨肉の思いを致すべし『洞谷記』当山尽未来際置文 昵づく・イ《意味》ちよつとみる

ビジネスの場面では、予定や商談を急にキャンセルする際に用いられます。しかし、そのような行動は自分の評判を損ねることもあるため、土壇場でのキャンセル（ドタキャン）には注意しましょう。